

# 令和7年度 壬生小学校経営計画

## みぶっ子7か条

- 一、早寝早起き、しっかり朝御飯を実践します。
- 一、体力づくり(運動・外遊び)に励みます。
- 一、毎日家庭学習をします。
- 一、読書の時間を作ります。
- 一、論語を生活に生かします。
- 一、人の話を最後まで聴きます。
- 一、ひきょうなことはしません。

## 1 学校経営の理念と方針

### 「人は人の中で人となる」

学校教育の第一の目的は、集団生活をとおして一人一人の児童を健全に成長させることである。とりわけ、社会性は他者との関わりなしでは育たない。集団で活動する中で、「協力や協調」「我慢」「努力」「感謝」「奉仕」「規範意識」などを身に付けさせたい。さらには、一つのことをみんなで協力し、やり遂げることの楽しさや素晴らしさを実感させたいと考える。

教職員は、学校教育目標の具現化のため、児童は、学級目標や様々な活動のねらいの具現化のため、必要なことを明確にし、力を合わせて努力する。「認めて褒めて励まして信じて待って見届ける」を基本姿勢に謙虚に誠意をもってすべての児童を温かく導き、「子供を第一に」の下、生きる力を育む。そして、本年度の重点目標を「自分も相手も大切に～人との関わり合う力を育もう」とし、人との関わり合いの中で互いに成長しながら「明日が楽しみになる学校」を目指していく。

## 2 学校の教育目標

知(頭)・徳(心)・体のバランスの取れた成長を促し、予測困難な時代をしなやかに自ら対応できる「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」を育むため、下記の教育目標を設定する。

知(頭) 徳(心) 体のバランスの取れた子供の育成

- やさしく (思いやりのある子)
- かしこく (深く考える子)
- たくましく (ねばり強い子)

## 3 目指す学校像 「明日が楽しみになる学校」

- (1) 誰にも居場所があり、幸せになれる学校
  - ・知・徳・体の成長(生きる力)を保証し、自覚させる教育活動
  - ・子供の夢を育て、みんなが自己肯定感・自己有用感を持てる教育活動
- (2) 笑顔が循環し、教職員も幸せになれる学校
  - ・使命感と教育的愛情にあふれ、せつさたくまして高め合う教職員
  - ・学校経営参画意識を強く持ち、創意工夫に満ちた実践
- (3) 家庭や地域とともに歩み、信頼される学校
  - ・子供の笑顔と学校の良さの配信
  - ・様々な人と触れ合い、学び合い、地域、家庭とともに歩む学校

#### 4 学校経営の具体策

- (1) 全教職員が学校経営参画者としての自覚を持ち、共通理解・共通実践を日常化し、チーム学年、チーム壬生小で協働的に力強く教育活動に取り組む。
- (2) 学校教育目標の具現化を目指し、特色ある教育活動をP→D→C→A→Pで実践する。
- (3) 全ての教職員で壬生小の児童を担任する意識を持ち、組織的な支援体制の充実に努める。
- (4) 一人一人の学力や体力の実態把握に努め、個性伸張を図り、夢や志を育む。
- (5) 教育環境の整備と美化に努め、施設設備の効果的な管理と活用を図る。
- (6) 児童の安全確保と健康増進に組織的に取り組み最善を尽くす。
- (7) 専門職としての自覚に立ち、研究・修養に励み、創意工夫に満ちた実践を展開するとともに、働き方改革を推進する。
- (8) 「家庭や地域とともに歩む学校」という理念の下、様々な場面において地域との連携強化を図り、情報の的確な発信や協働的活動に努める。

#### 5 目指す児童像

- 多様性を認め合い支え合える子供
- 郷土を愛し、礼儀正しい子供
- 主体的に学習に取り組む子供
- 学ぶ楽しさを味わい、自分らしく表現する子供
- 運動に進んで親しむ子供
- 自分の健康安全を守る子供

#### 6 目指す教職員像

- 自らを高めるために、絶えず学び続ける教職員
- 子供の人権を守り、寄り添う教職員
- 子供の良さを引き出し、主体的に活動させる教職員
- 同僚を支え合える教職員

#### 7 壬生小ならではの取組（重点）

～居場所づくり・絆づくり～

- (1) 多様性を認め合い、支え合える学級集団づくり
  - 意図的な遊びやグループワークなどによる仲間づくり
  - 自主的な係活動や当番活動での協働と絆づくり
- (2) 豊かな心を育む活動の充実
  - 絆を深める異年齢集団活動の実施
  - 児童主体のなかよし班活動の充実
  - 心を育てる論語教育の推進
  - 道徳教育と道徳科の授業の工夫・改善
  - 人とのかかわりについて考える活動の実践

～授業で人づくり～

- (3) 基礎的・基本的な学習内容の習得
  - わかる喜び、できる嬉しさ、学び合う楽しさを実感できる授業の実践
  - ねらいに迫るための効果的なICT活用
  - 個別最適な学びや発展課題の充実
  - アセスメントと個に応じた補充学習の循環確立
  - 学習の約束の徹底
- (4) 考える力や豊かな表現力の育成
  - 学習の目的や場面に応じた意図的な言語活動の充実
  - わかりやすく話し、書き、伝え合う力の育成
  - 考えを広め、深める学び方の習得
  - 読書の習慣化につなげる読書活動の充実
- (5) 主体的な態度の育成
  - 調べ学習や協同学習による学び合いの充実
  - 生きて働く力や学び続ける力の獲得
  - 家庭と連携を図った家庭学習の習慣化

～生きる基盤づくり～

- (6) 基礎的な体力の向上
  - 運動量豊富で充実感のある体育の授業づくり
  - 児童主体の外遊びやスポーツ推奨への意欲喚起
- (7) 健康教育・食育指導の充実
  - 正しい生活リズムの習慣化(早寝、早起き、朝ごはん等)
  - 望ましい食習慣の育成啓発(食べる量、栄養のバランス、食べ方等)
- (8) 安全指導の充実
  - 危機意識の高揚(遊具・室内・避難訓練・登下校)

## 8 教育活動のベースとなる特別支援教育の充実

- 一人一人の教育的ニーズを踏まえ、可能性と個性を伸ばす教育の推進
- 個別の支援計画等の実践・評価のサイクル化の充実
- 交流学习の充実
- 校内委員会や教育支援の充実
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 合理的配慮の充実
- 個別最適な学びの推進
- SC・SSW、医療機関、関係機関等との連携
- 各種検査の実施・分析と支援体制の充実

